

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

マホガニーの挿し木

11月27日（木）

令和7年11月27日（木）、八重山農林水産振興センター職員は、宮良木工所代表の宮良氏と一緒に、マホガニーと思われる個体の採穂を行い、挿し木を実施した。

マホガニーとは、センダン科マホガニー属の総称で常緑高木の広葉樹である。材質や色味の価値から世界三大銘木の一つにも数えられていて、ワシントン条約によって天然木の取引が規制されている樹木でもある。中南米や東南アジアといった熱帯地域で生育・植林されていて日本国内での分布や自生の記録はないが、宮良氏から、石垣島の行政施設に植栽されている個体があり、過去に増殖を試みたが失敗したため再度挑戦したいとの要望があり、この度、繁殖を試みることにした。

今回は、結実個体ではなかったことから挿し木によることにし、施設管理者の同意・立会いのもとで若い枝を数本採取させてもらった。また森林資源研究センターにも協力してもらい、研究センターの施設と当センターのベランダの両方で挿し木を試みることにしている。

今後は挿し木の状況を観察するとともに、生育に関する知見や材利用についても情報を収集していきたい。



採取の様子



挿し穂と挿し木

（報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川）